

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 東濃実業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年1月25日(木) 9:00~12:00
- 3 開催場所 東濃実業高等学校 体育館・あずさ館大会議室
- 4 参加者 委員 岡田 泰子 中部学院大学短期大学部幼児教育学科教授
奥村 悟 御嵩町議会議員
山本 正憲 洞興寺住職
細野 裕子 願興寺修復保存会会員
渡邊 加奈子 本校PTA役員
吉田 哲也 JAめぐみの伏見支店長 (欠席)
堀田 照子 みたけ華ずしの会 (欠席)
村田 直城 パティスリーランド代表
堀部 佳彦 本校同窓会長

学校側 宮田 慶美 校長
井戸 英紀 教頭
長屋 幸二 教頭
有田 美穂 事務長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和5年度学習成果発表会参観

(2) 参観いただいたの感想等

- 意見1: 3年生の学びの成果を共有し、1・2年生へ引き継がれる素晴らしい発表会であった。
- 意見2: それぞれの科や類型の特色ある学びが独創的な発表内容にまとめられ、工夫されたプレゼンの構成や五感に訴える表現力の高さに驚き、感心した。
- 意見3: 発表会後の即売店にも立ち寄らせていただき、列の整理や接客など行き届いた運営に商品の美味しさとともに、本気さが伝わった。
- 意見4: 御嵩町や地域の問題等を取り上げた取組みは、町が取り組むべき課題のヒントとなった。
- 意見5: 生徒さんの発想は、大人が考える以上に新しい発見がありとても参考になった。
- 意見6: 保護者や地域の方々にも観ていただけると良い。
- 意見7: 学校が御嵩町に密着し、一体となって地元を盛り上げようと努力していることが伝わり、地元への貢献が計り知れないと感じた。
- 意見8: 地元の方々と一緒に地域活性化する取り組みに感銘を受けた。
- 意見9: この取組みを御嵩町と共有し、町づくりに協働して欲しい。

意見 10：発展途上国への支援アプリの開発は、グローバルな視点での取り組みであり、素晴らしい。

意見 11：作品の出来栄が素晴らしく、見応えのあるファッションショーであった。

意見 12：芸術的・技法的にとっても優れたお菓子で、素晴らしい。

(3) 来年度に向けて

意見 1：学校全体で成果と課題が明確にされ、常に点検され学校運営につながっていることを再認識した。

意見 2：具体的な取り組みの中に目標を数値化することが大切である。

意見 3：コミュニケーション能力を養うためには共同で体験することが大切である。その過程で生じるトラブルを互いに共有し、乗り越える経験を積むことが必要である。

意見 4：東実ブランドを紹介するイベント等を開催し、地域住民に周知するとことで、地域と学校の距離が縮まるのではないかと。

意見 5：保護者による送迎時の交通事故に注意が必要である。

意見 6：来年度、「清流の国ぎふ総文 2024」「清流の国ぎふ文化祭 2024」が開催されますが、生徒のみなさんが全国の高校生徒と交流し感性を磨くきっかけになって欲しい。

意見 7：先生方も苦労があると思いますが、来年度も生徒のためにご指導をよろしくお願いしたい。

6 会議のまとめ

- ・各科・類型の学習内容や取り組みを知っていただく良い機会となった。
- ・地域と連携した活動や活性化のための取り組みについて評価していただいた。
今後、この取り組みを地域の方々に知ってもらう機会を増やし、地域と学校の距離が縮まるように工夫していきたい。
- ・各分掌等の取り組みについて目標を数値化し、到達状況を確認できるようにしていきたい。
- ・コミュニケーション能力を養うために、共同で体験的学習の場面を取り入れていきたい。
- ・「清流の国ぎふ総文 2024」開催に向けて、協力していきたい。